

授業科目名	特別支援教育論	単位数	2単位
担当教員名	千田光久	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	特別支援教育の基礎的理論に関する科目		
施行規則に定める科目 区分又は事項等			
「学位授与の方針」との関係 DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 特別支援教育と共生 【到達目標】 ①インクルーシブ教育、特別支援教育の理念について説明できる②特別支援学校の機能と役割について説明できる③視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、重複障害、発達障害(学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉スペクトラム症)の障害特性について説明できる④知的障害特別支援学校における指導について説明できる⑤交流及び共同学習の現状と課題について説明できる⑦特別支援教育と共生について提案できる。			
授業の概要 本授業では、障害のある児童等の教育の歴史・教育思想、インクルーシブ教育の理念、特別支援教育制度の成立と展開、多様な学びの場、特別支援教育に関連する法規、特別支援学校教育要領・学習指導要領の内容、特別支援学校の機能と役割、障害の特性、知的障害特別支援学校における指導、交流及び共同学習の現状と課題、近年の特別支援教育政策などについて理解し、特別支援教育と共生について提案できることを学修する。			
授業計画 第1回：障害のある児童等の教育に関する歴史と教育思想 第2回：インクルーシブ教育とサラマンカ声明(宣言)、障害者の権利に関する条約の理念 第3回：特別支援教育の成立、理念 第4回：我が国の教育における多様な学びの場 第5回：特別支援教育に関する法規 第6回：特別支援学校等の教育要領・学習指導要領 第7回：自立活動 第8回：特別支援学校が有する機能・役割 第9回：視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、重複障害、発達障害(学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉スペクトラム症)の障害特性 第10回：知的障害特別支援学校における指導 第11回：特別支援教育の課題1 幼・小・中・高校における課題 第12回：特別支援教育の課題2 特別支援学校における課題 第13回：特別支援教育の課題3 交流及び共同学習の推進についての課題 第14回：特別支援教育における近年の施策の動向 第15回：特別支援教育と共生 定期試験			
スクーリングでの学修 授業計画に示した第1回～15回の内容をスクーリングにおいては講義者の特別支援学校勤務経験も交えて具体的かつ実践的な内容を学修する。Webスクーリングは、講義とともにグループ討議を行う。			
テキスト 小林倫代編著(2022) 『改訂版 教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト』 学研教育みらい、9784058017623 文部科学省 『障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～』 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm			
参考書・参考資料等 荒巻恵子(2019) 『インクルージョンとは、何か?』 日本標準、9784820806585 文部科学省(2017) 『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm 文部科学省(2017) 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)』 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			